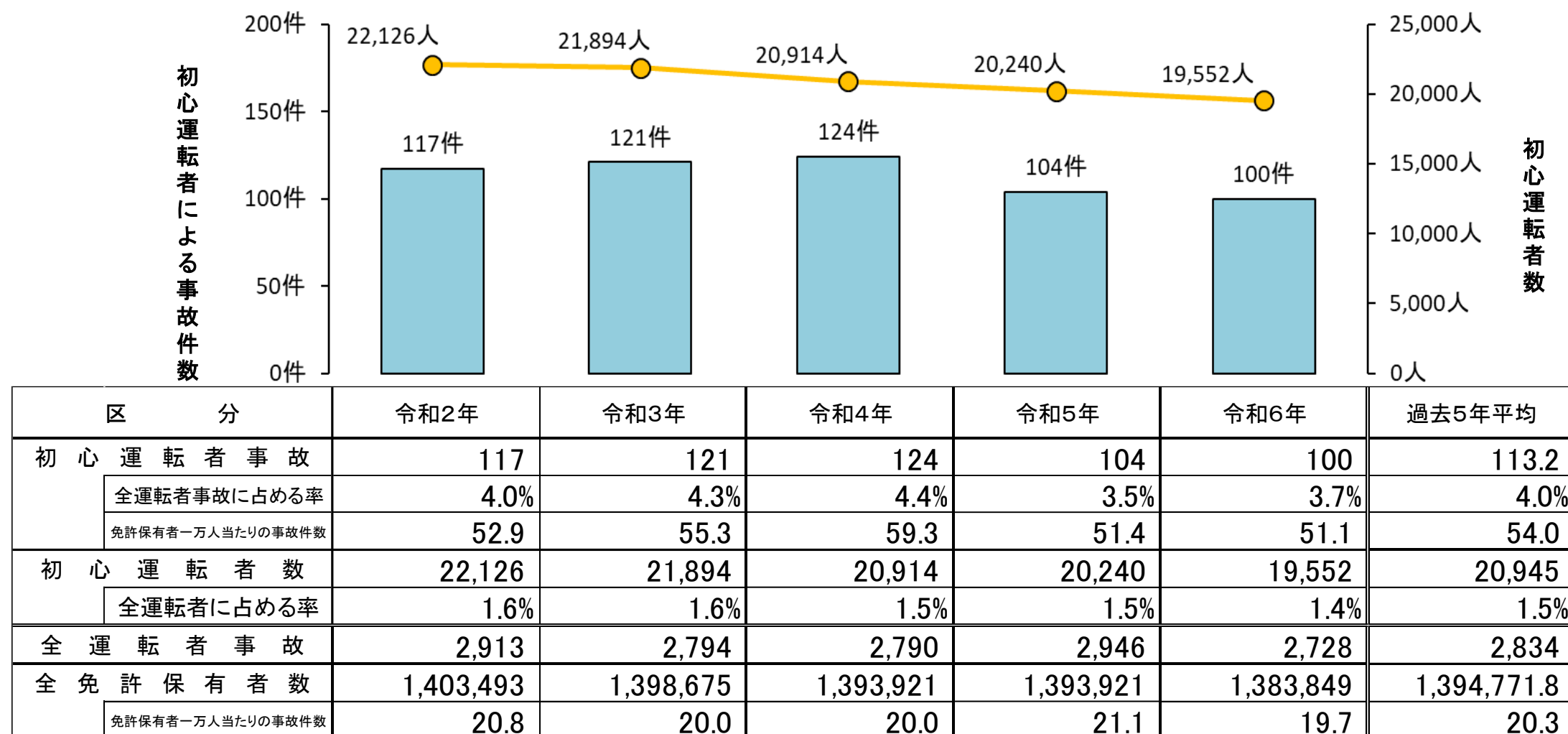


初心運転者（準中型・普通・軽自動車）の交通事故



過去5年間（令和2年～令和6年）の人身事故データから

《 最近5年間の交通事故発生状況 》



初心運転者は事故率が高い！

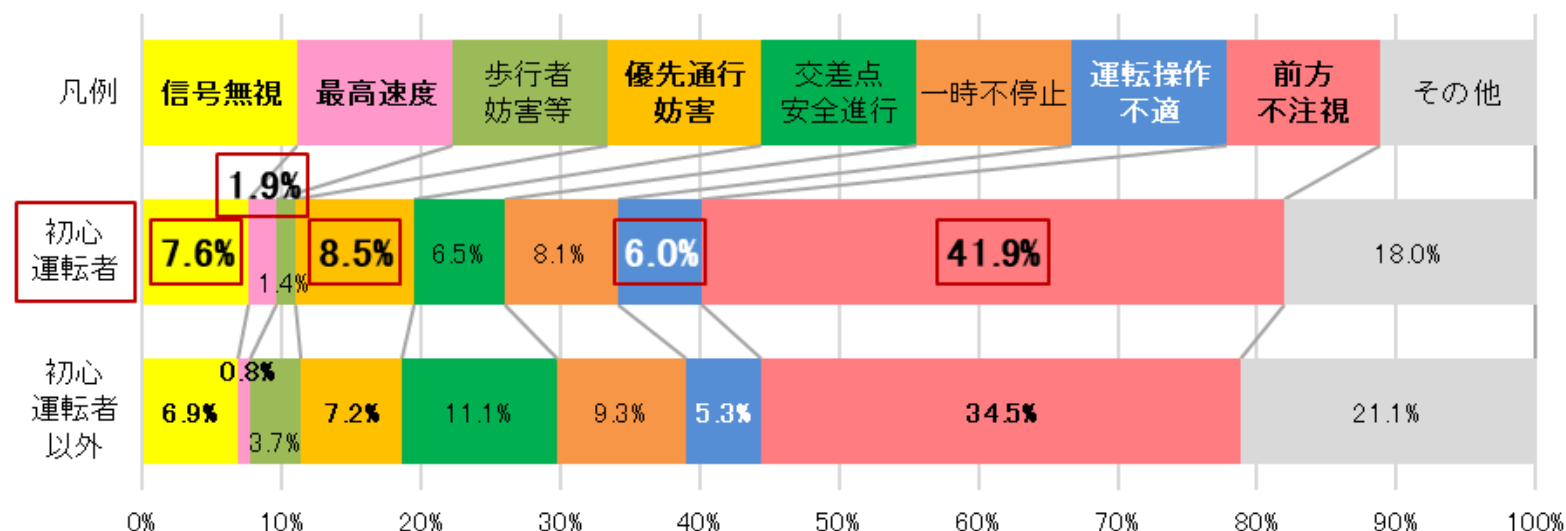
注1：運転者数は各年12月末現在。（県データによる）

注2：初心運転者数については、準中型免許・普通免許合格者数を示す。

注3：初心運転者・全運転者事故率とは、免許保有者あたりの事故件数をいう。

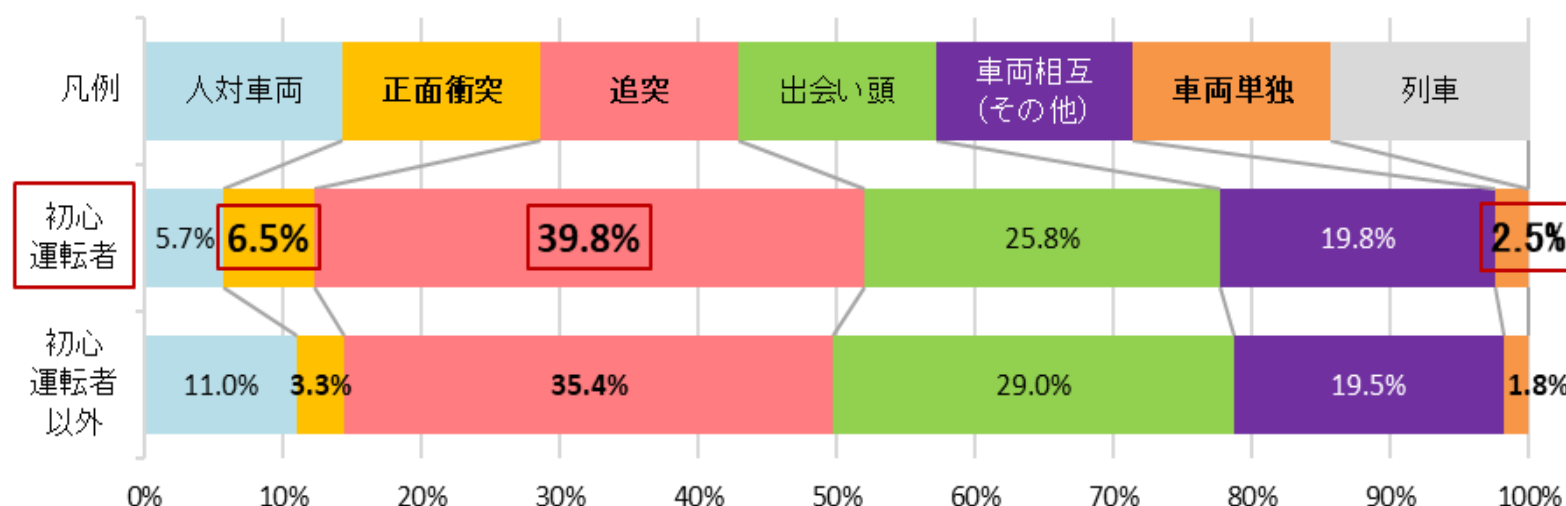
初心運転者による交通事故は令和4年以降減少しているものの、過去5年間の平均を見ると、全免許保有者に占める初心運転者の割合は1.5%であるのに対し、**初心運転者による交通事故は全運転者事故の4.0%と高く、さらに免許保有者1万人当たりの事故件数は54.0件で、全免許保有者（20.3件）の倍以上**となっている。

《 事故原因別 》



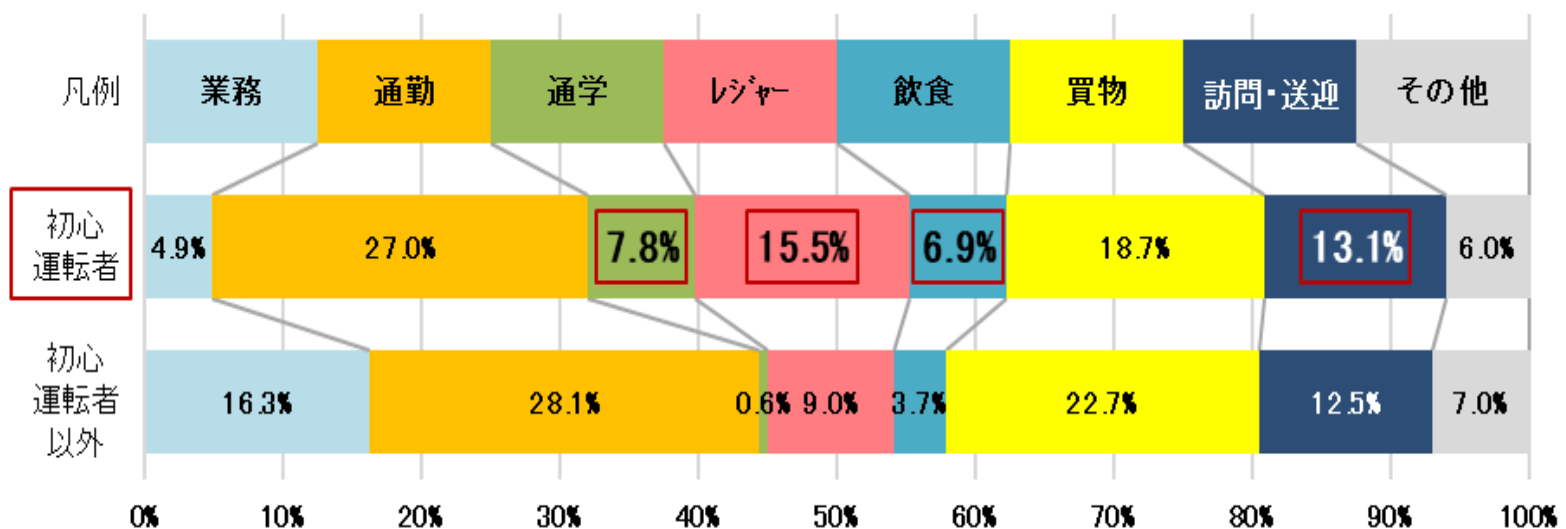
前方不注視による事故が多いほか、信号無視、最高速度、優先通行妨害、運転操作不適での事故率が高い。

《 事故類型別 》



速度の出し過ぎ、運転未熟による正面衝突や単独事故のほか、前方不注視等による追突事故が多い。

《 通行目的別 》



通勤時の事故が全体の約3割と多い。

初心運転者は学生も多く、通学時の事故が多いほか、レジャー、飲食、友人宅への訪問や送迎時の事故が多い。